

坂井市議会だより



表紙のデザイン・写真は三国高校 美術部・写真部のみなさん、
 題字は書道部 2年 水間 ^{みずま} 桃香 ^{ももか}さんによるものです。

6月定例会

◆ Topics 第二次坂井市総合計画の議論がスタート!

主な内容

補正予算概要	2	政務活動費報告	14
広域連合・一部事務組合議会報告	2	議会報告会	15
常任委員会報告	3~5	◆ Topics (第二次坂井市総合計画)	16
一般質問	6~13	9月定例会のおしらせ	16
定例会審議結果	13		



坂井市

第53号
 2019. 8

ホームページから過去の議会だよりもご覧いただけます。
<http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/gikai/>



令和元年度 一般会計6月補正予算概要

補正額 **△6億180万円** (補正後の額 435億9,169万円)

主な事業

◆丸岡地区活性化事業 △4億5,300万円

◆坂井地域交流センター管理運営事業
△4億400万円

国の地方創生拠点整備交付金の採択を受け、平成30年度3月補正予算に前倒しで計上したため、当初予算を減額。

◆地域交通対策事業 1,500万円

北陸新幹線敦賀開業に伴う並行在来線準備会社設立のための出資（第1次）による増額。

◆ゆりの里公園管理運営事業 1,800万円

公園の閑散期におけるイベント開催などに要する経費の増額。

◆除雪対策事業 1,540万円

雪対策を円滑かつ効果的に図るため、老朽化した消雪井戸の更新などに要する経費の増額。

◆道路改良事業 1億1,000万円

市道の拡幅・舗装・道路側溝などの工事に要する経費の増額。

◆森林環境譲与税基金【新規】 800万円

森林の整備および促進に要する経費の財源に充てるため、森林環境譲与税の基金積立金の計上。

◆地域商業活性化事業【新規】 600万円

市内共通ポイントカード導入に向けた商店街などの環境整備支援に要する経費の計上。

広域連合・一部事務組合議会報告

福井県後期高齢者医療広域連合

県内すべての市町で構成。
被保険者の資格の管理や保険料の決定、医療の給付などに関する事務を行う。

- 平成31年3月：第1回定例会
 - 平成31年度後期高齢者医療特別会計予算 可決
 - 後期高齢者医療に関する条例の一部改正について 可決
他4件を可決、同意

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

坂井市・福井市・あわら市・永平寺町で構成。
主に清掃センター、YONETSU-KANささおかの運営、電子計算組織(福井市を除く)の共同利用を行う。

- 平成31年3月：第174回定例会
 - 平成31年度一般会計予算 可決
 - 平成30年度一般会計補正予算 可決
 - 一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について 可決

嶺北消防組合

坂井市とあわら市で構成。
■平成31年3月：第1回定例会

- 平成31年度一般会計予算 可決
- 火災予防条例の一部を改正する条例について 可決
他2件を可決

越前三国競艇企業団

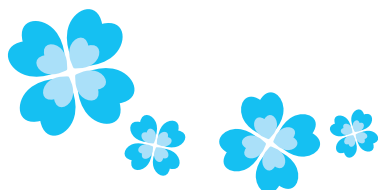
坂井市と越前市で構成。
競艇事業の運営を行う。
■平成31年3月：第1回定例会

- 平成31年度モーターボート競走事業会計予算 可決
- 平成30年度モーターボート競走事業会計補正予算 可決
- 特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例について 可決

五領川公共下水道事務組合

坂井市と永平寺町で構成。
九頭竜川廃川敷およびその周辺の区域に係る公共下水道の設置、修繕、その他の管理に関する事務を行う。
■平成31年3月：第105回定例会

- 平成31年度五領川下水道事業会計予算 可決
- 平成30年度五領川下水道事業会計補正予算 可決
他2件を可決



総務常任委員会報告

主な質疑内容

総務部

- 問** 防災事業のコミュニティ助成の採択方法は。
- 答** 市の申し込みを受け、県で審査し採択になる。今回の補正予算では2件の申請の内1件が採択された。
- 問** 本庁舎整備後の各支所機能について。
- 答** 現在総務課内部で検討を始めている。効率的、機能的な観点で組織全体の見直しを含める中で支所機能を今後整理していきたい。

総合政策部

- 問** 丸岡バスターミナル賑わい交流施設飲食テナントの公募はいつ頃か。
- 答** 公募の要件が決まったので6月末、もしくは7月初めごろから募集をかけていく。応募者のプレゼンテーション・ヒアリングなどで事業者を決定していきたい。
- 問** 地域コミュニティの助成金について、年間どれくらい採択数があるのか。
- 答** 一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として各自治体を応援する事業である。昨年までの3年間は2件の採択があった。
- 宝くじの売り上げが減少していることによって採択件数が減ってきている。
- 問** 戸越銀座アンテナショップの売り上げ状況は。
- 答** 平成28年度オープン当初は坂井市を知ってもらうことに重点を置き利益がない商品や、傷みやすく廃棄につながる商品も陳列し推進してきた。

平成30年度は方針を転換し利益がとれる商品を並べた結果、売り上げが前年度マイナス100万円程度となったが売上総利益についてはプラス100万円につながった。

- 問** NPO法人まちづくりカレッジさかいの活動内容は。
- 答** まちづくりカレッジの第1期生が中心となり、まちづくりカレッジなどの関連事業を市から委託を受け行政と協働で運営する。また、地域の担い手育成に努め、会員のノウハウを生かした出前講座などにも取り組んでいる。

財務部

- 問** 森林環境譲与税の収入額800万円の算定根拠について、国からの内示があったのか。
- 答** 県からの資料に基づいた数字である。
- 問** 会計年度任用職員制度による財政上の変更点は。
- 答** 会計年度任用職員にかかる経費は従来、予算科目は賃金で計上していたのが給料、または報酬になり、人件費ということで義務的経費になる。
- 処遇改善で人件費が増加するが、その額は今後条例で決めていくことになる。



▲ 委員会の管内視察の様子（福井ふるさと茶屋「くららぼん」 三国町）

教育民生常任委員会報告

主な質疑内容

市民福祉部

問 令和元年度、改選を迎える民生委員・児童委員の現在の状況はどのようになっているのか。

答 坂井市全体では、委員数は184名、平均年齢は65.9歳である。また今回の改選で、三国地区2名減、丸岡地区2名増、春江地区3名増、坂井地区は増減なしの再編を予定している。

問 就学前の発達障害児の支援取り組みはどのように行っているのか。

答 保育園に入園している気がかり児への取り組みは、専門的な知識を有している保育カウンセラーが、園での様子を見て、保育士に専門的な助言を行っている。

問 健康マイレージシステムについての、その後の進捗状況は。

答 現在はワーキンググループを設置し、令和2年の4月、もしくは6月からの実施を目標に取り組んでいる。

教育委員会

問 学校周辺や公園に防犯カメラを設置することを教育委員会としては積極的に進めて行く方向性はあるのか。

答 学校やPTAなどから要望があった場合に、設置内容を十分確認した上で、設置基準に基づいた内容であれば、関係機関と協議し、検討していきたいと考える。

問 本市の体育施設の今後のマネジメント計画はどのようになっているのか。

答 現在、市には46の体育施設があるが、劣化

や損傷状態を詳細に把握し、各地域における必要性などを総合的に考慮し、令和元年度中に、体育施設マネジメント計画を策定していく予定である。

問 みくに龍翔館を小中学生の学習の場として、どのように活用しているのか。

答 県内の小中学校の校外学習の場として活用しており、学芸員より三国湊を中心とした歴史文化、人々の暮らしといった説明を行っている。

三国病院

問 厚生労働省が発表した公立病院の再編についての見解は。

答 今後の地域の環境の変化、国の厚生行政の在り方などを勘案し、今後の三国病院の病床機能、病院機能などをしっかりと検討していきたいと考える。

問 3年連続病床率が70%を切ると、経営形態の変更が求められるそうだが、具体的にはどのような強制力が働くのか。

答 総務省のガイドラインには経営形態の変更を求めるとあるが、具体的な罰則などはない。ただし、国・県からの何らかの指導はあると考える。



▲ 校外学習活動などに利用されるみくに龍翔館

産業建設常任委員会報告

主な質疑内容

産業環境部

問 ゆりの里公園活性化を検討する若手ワーキンググループからの提言とは。

答 公園の閑散期におけるイベントの開催やカップルの聖地になるようなイルミネーションの設置、ユリウム春江の屋根の照明、この3点である。

問 「ゆりフェスタ」は大盛況であるが、令和元年度の花のイベント計画は。また、閑散期を作らないことが大事では。

答 5月に「バラ祭り」、6月には「ゆりフェスタ」を開催、ユリの期間終了後はポーチユカの花をユリの展示圃場に植栽し11月頃まで鑑賞できるようにする。周辺の田んぼには大麦刈り取り後にコスモスを栽培する計画である。11月から3月の花の咲かない時期は、花に見立てた*ペットボトルをユリの展示圃場に設置するなどして、通年で花を楽しめる環境整備を目指していきたい。

問 三国花火会場のトイレ増設の計画は。

答 平成30年度は10カ所93基設置するとともに、混雑緩和のために分散化を促すアナウンスを行った。令和元年度は新たに1カ所3基増設する。



▲観光客でにぎわう「ゆりフェスタ」

問 市内全域の商店街で使用できる共通ポイントカードの導入スケジュールは。

答 4地区の商店連盟や商業振興協同組合の令和元年度事業計画に盛り込まれている。8月から県補助などの事務手続きを開始するとともに、加盟店の募集、消費者への周知を経て、12月1日からスタートする予定である。

問 森林振興計画は全国統一的なものになるのか、市独自の策定になるのか。

答 国の指導であるものではない。市の森林面積7,355ヘクタールのうち、今回の森林環境譲与税による整備計画は、主に針葉林を含む2,780ヘクタールである。

建設部

問 道の駅「みくに」の休憩所に案内所があるが、現在誰も常駐していないのはなぜか。

答 旧三国町時代には常駐していたが、合併後は同様の施設「いねす」と維持管理の見直しを行い、案内人を常駐しない方向で統一した。

陳情

陳情第1号	食料・農業・地域政策確立に向けた要請	採択
-------	--------------------	----

〈主な意見〉

これらの要請は、周辺環境を継続して守っていくうえでも農業者への手厚い補助や政策は大切である。また、坂井市は水田農業が主であり必要な要請であることから、強く賛同する。

☆発議第1号にて陳情をもとに意見書を提出。

(P13参照)

※ペットボトル…ペットボトル容器に太陽光パネル、充電電池、LEDを組み込み、暗くなるとLEDが自動的に点灯する発光装置。

一般質問

坂井市の学童保育の現状は

問 施設数は学童保育の需要者に対して十分足りているのか。

答 現時点においては、施設数は需要を満たしていると考えますが、利用者が増加する長期休暇中に関しては、十分なスペースを確保することが困難な施設も一部ある。

今後は、放課後児童クラブの活動場所の充実を図り、児童の健全な育成を支援していきたいと考え

坂井市の高齢者世帯の現状は

問 今後、予想される高齢者世帯・高齢者の一人暮らしが増えていくことに對し、市はどのような見解をもっているのか。

答 2025年には、国民の5人に1人が75歳以上という超高齢化社会を迎えるが、市においては、2025年を目的に、地域共生社会に向けた包括的な地域支援体制を構築していきたい。

園児の園外活動（散歩）での事故防止対策は

問 保育園児や、引率の保育士が園外活動中に、事故に巻き込まれる



渡辺 竜彦



といったことが相次いでいるが、園外活動にあたっての危険な場所がないのか、確認はできているのか。

答 市内の幼保園、保育園、こども園の散歩コースの状況調査を実施し、散歩コースにおける危険度の確認を行った。

問 市は園外活動の際に、園児や保育士を事故などから守るための地域との連携は取れているのか。

答 安全確保に係る地域との連携については、園ごとの保護者会において園外活動の情報を共有し、地域と連携し見守ることのできる仕組みづくりを検討していきたい。



▲ 学童保育の様子

予防保全型の橋梁管理を

問 市が管理している橋梁について、緊急に修繕を要する橋梁の有無および建設から50年以上が経過している橋梁の本数は。

答 定期検査の結果において、市が管理しているすべての橋梁について異常はなく、緊急に修繕が必要なものはない。

市が管理している615橋のうち、建設後50年以上が経過しているのは283橋ある。

問 定期点検および補修工事の進捗状況と今後の進め方は。

答 定期点検については、平成30年度までにすべての橋梁について完了している。

補修工事については、これまでに五本跨線橋、福島橋、宮領橋の3橋が完了している。

今後も橋梁の長寿命化を図るために計画的な修繕を予定しており、予防的な修繕を行うことで、道路交通の安全性を確保したい。

地域医療を守るための病院経営を

問 市立三国病院の現状と課題は。平成23年度以降、病床利用率が70%未満にとどまっている。



辻 人志



三国病院新改革プランの目標年度である令和2年度までに70%以上を達成しなければ、総務省が平成27年3月に定めた公立病院改革ガイドラインに沿って経営形態を変更せざるを得ない状況になる。

今後の取り組みの柱として、病院スタッフの意思統一を図り、近隣の医療機関や大病院、介護施設との連携を強化するとともに、認知症高齢者ら慢性期療養型病院が対象となる患者も柔軟に受け入れていく体制にしなければならないと考える。



▲ 補修工事が完了した五本跨線橋(市道坂井中央線)

坂井市ならではの教育施策を

問 市の英語教育において、令和元年度から配置された英語教科指導員の目的と具体的な活動内容は。

答 英語教科指導員は市独自のものです。英語教育の充実を図ることを目的としている。

問 具体的な活動としては、英語授業への指導、教員への研修、教員の個別相談に積極的に取り組んでおり、既に、各小学校からは指導案の作成や授業の進め方などについて、指導希望が多数寄せられている状況である。

問 小学校での英語が教科となったことで、今後、小中連携が重要になると考えるが。

答 文章を書けるように指導するのは中学校であり、小学校ではアルファベットを書けるように指導する。

小学校と中学校の英語教育の違いをお互いの教員が理解し、連携をして指導することが重要である。

問 坂井市学校業務改善方針の部活動適性化計画によると、2021年度まで



川端 精治



でに中学校の部活動数を教員数のおおむね2分の1になるよう見直しを行うとなっているが、市内の現状と対策は。

答 令和元年度の教員数で見ると、三国中学校において5つの部活、他の4中学校では3つの部活を減らす必要があることになる。

地域によって状況が違うため、各中学校の状況などを踏まえて、地域の人や保護者の意見も聴きながら県教育委員会、市教育委員会、学校が連携し、協議・検討を進めていきたい。



▲ 福井県教育委員会が配布した教員の働き方改革の取り組みリーフレット

三国病院新事務長に、病院改革を問う

問 三国病院新改革プランでは、地方独立行政法人か指定管理制度を選択肢としているが、最善の運営形態をどのように考えるか。

答 病院経営においては、入院患者の獲得と病床利用率の向上が一番大事である。

令和2年度までに病床利用率を7割以上にしなければ、経営形態の変更が必要となる。

7割以上に病床利用率を高め、医業収益の黒字に努め、黒字化を5年継続すれば公営企業法全部適用も可能となる。

公立病院の将来的最善の運営形態は、公営企業法の全部適用であると考える。

問 医師不足をカバーし、診察の充実や待ち時間短縮を目的に、医師事務作業補助者の増員の考えはあるか。

答 現在、医師事務作業補助者は1名であるが、電子カルテ更新作業後の状況を見て、増員するか検討したい。

問 今春300人の県内生まれの看護師が誕生し、227人が県内に

就職している。

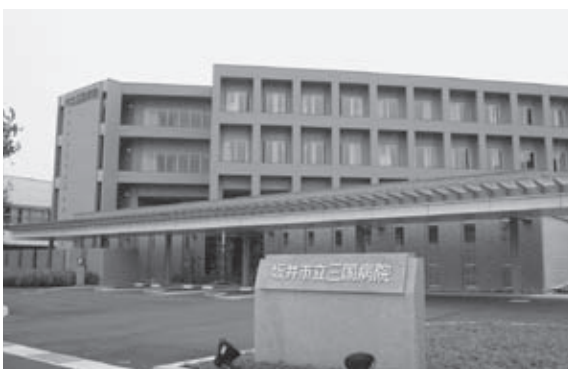
新卒者の採用に、インターンシップの受入は重要だと思うが、実績はどのようになっているか。

答 インターンシップ制度は、令和元年度から導入し、8月に2名受け入れ予定である。

受け入れを進め新卒採用に全力で取り組む。



伊藤 聖一



▲ 坂井市立三国病院

子ども医療費助成制度の18歳までの拡充を

問 18歳までの拡充を県に対して要望は続けているのか。

答 市長会を通して、医療費の半額補助となる対象年齢について、現行の小学3年生までを中学3年生までに引き上げるように県へ要望をしている。

また、国に対しても、北信越市長会を通して、国の制度として一元化した上で、全ての子どもの医療費を窓口で負担のない現物給付方式として、高等学校卒業までを国の責任において財政措置を講じようという要望をしている。

心のケア・予防のために、市内に居場所作りを

問 市に「相談なんてしない」という人の声を聞く。

どのように総合相談窓口に来てもらうように取り組んでいるのか。

答 心の悩みを抱えながら相談窓口や必要な支援につながる人、支援が必要な人の手元に必要な情報が届くよう、一層の相談窓口の周知・広報を推進し、相談しやす



▲ みんなの保健室(福井市)



後藤 寿和

い環境に努めていく。

問 福井市では『みんなの保健室』という居場所を民間が行っている。

民間の人たちと一緒に行政のノウハウを連携させながら居場所を作るのはどうか。

答 地域共生社会の実現に向けて、人と人のかかわり、団体、社会を構成する組織とかを巻き込んで地域共生社会づくりをしていかなければならないという思いでいる。一つの方向性として、まちづくりに絡めた保健室的な居場所を研究していく思いである。

Wi-Fi環境の整備・エリア拡大を

問 市内の駅やバス待合所で利用可能な無料Wi-Fiスポットの設置状況や設置予定は。

答 えちぜん鉄道三国駅、三国港駅、西長田駅において通信業者によるサービスが提供されている。丸岡バスターミナルにおいても整備を進めている。

問 三国駅など通信業者設置の無料Wi-Fiは、利用者が限定される。

答 通信業者の公民連携サービスを活用すれば誰もが利用可能となり、利便性が向上すると考えるが。また、同サービスの利用者行動分析データを観光戦略に役立ててはどうか。

問 網羅的な整備は非常に重要。

周遊滞在型観光推進、インバウンド推進計画に基づき、観光拠点、公共交通機関、文化施設など広域的かつ戦略的に無料Wi-Fiの整備を進めていきたい。

総務省も多様な民間連携サービスや技術を研究しており、その成果も併せ見ながら対応していきたい。



▲ 無料Wi-Fiスポットが設置されているえちぜん鉄道 三国駅



山田 秀樹

問 各支所やコミュニティセンター設置の無料Wi-Fiは閉館時に利用できない。

いつ起こるか分からない災害に備え、24時間稼働すべきでは。

答 各施設で避難所を開設する際は、市の職員が待機し、Wi-Fi環境の設定を行うことで災害時の利用が可能になる。

今後は災害を想定した24時間稼働についても再検討することが重要であると考えます。

コウノトリの巣塔を造っては

問 コウノトリは自然環境のバロメーターとも言われる。コウノトリのひなの誕生をどのように考えているのか。

答 現在4羽が確認され大変うれしく思っている。地元区民や関係機関の支援を受け、見守りたい。

問 ひなが無事巣立つと、親鳥は翌年も同じ所または、近くに巣を作る可能性が高いといわれる。ひなが無事巣立つことができれば、周辺環境を考慮して人工巣塔を造ってはどうか。

答 巣塔の建設は、地域の理解や設置場所の選定、周辺環境の整備などの課題があり、現状では難しい。

問 ※ロタウイルスワクチンの公費助成をしては

答 平成30年度から子どもの医療費窓口無料化が行われた。厚生労働省は子どもの医療費が14%増加すると見込んでいたが、現状はほとんど影響がなかった。市の見解は。

問 一部補助の任意予防接種を全額補助できないか。

答 任意予防接種の料金は、各種医療機関で設定されており、同一として全額補助とすることは困難。

問 ロタウイルスワクチン接種を全額補助または、一部補助できないか。

答 厚生労働省において、ロタウイルスワクチンの定期接種化に向けた審議が行われており、今後の動向を注視したい。



川畑 孝治



▲市内のコウノトリ親子の様子

※ロタウイルス…乳幼児を中心に短時間における激しい下痢が主な症状で、脱水症状を起こしやすい病気。

市内、川の流れの現状は

問 中小河川に、魚やホタルが生息している、または戻ってきている河川はあるか。

答 平成30年11月に坂井、丸岡地区で調査した報告では、ヤリタナゴ、ドジョウ、キタノメダカなど、絶滅危惧種や絶滅危惧Ⅱ類の指定を受けた魚類を含む6科14種のほかにも、両生類やタニシ、シジミなどが確認されている。

問 市街地浸水対策として、逆流防止施設を設けられないか。

答 強い降雨の継続時において、内水氾濫を防止する上で、浸水対策の軽減に効果的であると考えており、河川管理者である県と協議していく。

問 水害対策として中小河川の監視のため、水位を網羅的に把握できる水位計測システムを導入できないか。

答 本市の河川監視については、竹田川・兵庫川・田島川・五味川の4河川で福井県河川・砂防総合情報を活用して水位状況を確認しており、それ以外は、職員が現場パトロールを行って確認している。また、新庁舎建設に併せて災害対策本部室に総合防災情報システム



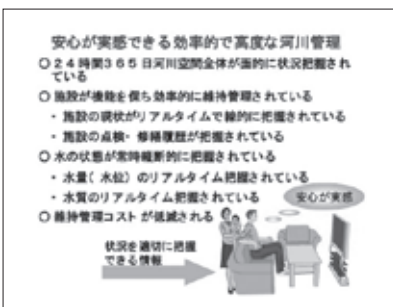
南川 直人

ム構築を考慮しており、その中に河川砂防関連情報が収集できる機能を備えたい。

平成30年度学術調査を終えた丸岡城のPRは

問 今回の調査研究報告を市民に早く説明すべきと考えますがどうか。

答 11月16日に、たかむく古城ホールで丸岡城シンポジウムを開催する予定であり、それまでも市民に今後の国宝化に向けた取り組みについて説明する機会を設ける。



▲市民から見た「次世代の河川管理」国土交通省「次世代の河川管理について」より引用

2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」主人公・明智光秀と関係の深い、称念寺の情報発信、PRを

問 明智光秀は、信長に仕える前、丸岡町長崎にある「称念寺」門前に10年間住んでいたといわれている。

答 このチャンスを生かし、観光産業課などの連携を深め、市としての情報発信、PRをどのように考え、観光に生かしていくのか。

問 称念寺の文化や歴史、明智光秀との関係性などの情報収集を行い、関係各課で情報を共有しながら、一丸となって市内外に向けた情報発信、PRを行っていく。

答 観光につなげていくには、県や福井市との連携が重要であり、訪れてみたいと思えるような気運の醸成を協働で取り組み、称念寺や周辺観光地への誘客促進を図りたい。

問 称念寺境内にトイレ設置の計画はあるが、それと付随した寺子屋（資料館）をつくっては。

答 敷地自体が遺跡の一部となっており、困難である。

問 小中学校の校外学習に称念寺を入れるなどの取り組みも。

答 校外学習では、協力していきたい。



▲ 丸岡町長崎にある「称念寺」

また、社会科の副読本「わたしたちの坂井市」に掲載したい。



畑野麻美子

私たちにできる使い捨て
プラごみ削減生活の推進を

問 自分たちにできることから取り組み、プラごみと温暖化問題の啓蒙、教育の抜本的強化を求める。

答 市の広報紙に「ごみ減量の確認リスト」を掲載して、役立てていく。

「ごみカレンダー」にプラごみの削減方法を掲載するなど検討する。

これからの防災対策は

問 国の警戒レベルでは避難準備、避難勧告、避難命令の基準を設けているが、本市での警戒レベルはどのように判断しているのか。

答 避難しなければならぬような洪水、河川の氾濫が予想される場合、どの機関で判断するのか。

問 警戒レベルは住民がとるべき行動を直感的に理解できるように避難情報とあわせて発表するもので、避難情報の発令基準は「避難所勧告等判断・伝達マニュアル」を作成している。

答 避難情報の発令については、国や県から示される降水量や河川の水位、土砂災害情報、今後の気象変化などの気象情報、また消防などの現場情報も含めて市が総合的に判断する。

今ある公園をもっと有効に

問 今ある公園をもっと人が集まるように、スケートボードの練習場、ドッグランなどの場所づくりをしようか。

答 小さな子どもから高齢者までが集まる憩いの場であるため利用者が



▲ スケートボード練習場(福井市)

に危険や迷惑がかかる利用は禁止している。

ドッグランの施設を整備するには、安全性と快適性を確保し、飼い主と利用者とをすみ分けする必要性がある。

近隣住民に騒音や悪臭などが問題である。



近藤 哲行

高齢者など交通弱者の生活、
外出支援策の早急な実施を

問 議会と行政が一体となり、プロジェクトチームを作り、実行可能な施策の結論を早急に出していくことができないか。

答 高齢者などの交通対策は重要であり、生活、外出支援に対する施策の充実は急務である。
令和2年度までの2力年で坂井市地域公共交通網形成計画を策定し、次の10年の公共交通施策の指針とする予定である。

問 また、策定中の第二次坂井市総合計画において、市民のニーズをアンケート結果などからの確にとらえ、議会とともに実行可能な施策を打ち出していきたい。

答 まだ食べられるのに捨てられる食品ロスを減らすための食品ロス削減推進法が成立した。
国民運動として強力に推進する内容である。
市の見解と推進計画作成の取り組みをどのように考えるか。
国連のSDGsエスディーズなど国際的にも重要な課題となっていると認識している。

本市としても、資源の節約や環



永井 純一

境負荷軽減の観点から、取り組むべき重要な課題であると認識している。

今後、国や県の動向を注視し、食品ロス削減に向けた取り組みについて検討する。

問 国産液体ミルクを災害備蓄品に導入すべきでは。

答 液体ミルクは水も不要であり、温める必要もなく常温で乳児が飲めることから、災害時に実用的で大変便利なものである。
検討していきたい。



▲ 地域公共交通会議の様子

ごみ減量の取り組みは

問 レジ袋有料化の考えは。

答 第二次坂井市一般廃棄物処理基本計画策定において引き続きマイバッグ持参運動の推進を図るとともに、プラごみを含むごみ排出量全体の削減を目指していく。

問 県産六条大麦の茎を使ったストローを製作している団体がある。事業を実施した場合、きっかけづくりとして補助する考えは。

答 再生可能なバイオプラスチックや紙などへの代替を推進するため、事業化へ向けて実証を行うものに対して補助する事業がある。要件に合致すれば令和2年度以降対応できると考える。

問 不法投棄の現状と対策は。

答 平成28年度7件、平成29年度21件、平成30年度21件となっている。

問 対策は市、県で年4回の合同パトロール、環境保全団体が年4回計8回のパトロールを行っている。
また、平成27年3月に市内4郵便局、JA花咲ふくい、JAはるえと不法投棄監視協定を結び早期発見、防止に取り組んでいる。
監視カメラの設置は。



田中千賀子

答 第二次計画の中で検討していきたい。

フードバンク活動に対する市の支援は

問 ※フードバンク活動支援の取り組みは。

答 国や県の動向を注視しつつ、食品ロス削減やフードバンク活動の支援に向けた取り組みを検討していきたい。



▲ 三国サンセットビーチに打ち上げられた海洋プラスチックごみ

※フードバンク：まだ食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品を、企業から寄付を受けて生活困窮者などに配る活動。

女性が輝く坂井市の取り組みは

問 イクボス宣言後の取り組みと波及効果は。

答 平成29年に県内初のイクボス宣言を37事業所と行い、現在は57事業所となっている。

毎月19日はイクボスの日と定め、課長級以上の職員が行動宣言を実行している。

これにより管理職の意識の変化、男性職員の育児参加意識の向上を感じている。

今後も子育てや介護などをしながら働き続けられる職場の環境整備、意識改革と理解の促進に努める。

問 本市は全国トップの共働き率であるが女性管理職率は。

答 本市役所の参事級以上の女性管理職は49人で35・5%、課長級は11人で15・9%である。

今後も女性管理職の登用に積極的に取り組み、市内の事業所の女性管理職の向上にもつなげていく。

問 働く女性の育児支援、ゆとり創出は。

答 働きながらも子育てがしやすくなるよう、女性活躍推進事業や



三宅小百合

男女共同参画事業を通じ意識啓発に努めていく。

問 本市の女性活躍のひとつとしてフットサルチーム「福井丸岡RUCK」があるが、今後の支援は。

答 地元チームとして積極的に応援し盛り上げ、スポーツに限らず、さまざまな分野で活躍する女性を応援し、女性活躍の機運を高めていく。



▲女性が輝く福井丸岡RUCK

市長の経済認識と支援策

問 内閣府が発表した4月の景気動向指数の基調判断は2カ月連続で悪化となった。

「判断」をどう受け止めるか。

子ども医療費が中学校卒業まで無料だが、国、県、市が同様に負担するなら、市の負担の軽減額はいくらか。

答 現段階では判断が難しい。今後情報収集しながら、見極めたい。

平成30年度実績で算定すると、7760万円である。

超高齢社会において、高齢者が安心して暮らすための具体策は

問 高齢の単身者が、空き家などを利用し、共同生活を行う場合に、行政の支援は。

答 将来を考慮研究課題として進める。

問 コミュニティバスの利用料を、75歳以上、70歳以上の低所得者を無料にするシルバーパス制度を。

答 導入を含め、利用増加策について検討したい。



松本 朗

問 大病院に朝通院できる、コミュニティバス運行の改善を。

答 坂井市地域公共交通網形成計画を策定する中で、検討する。

問 国民健康保険税の黒字分を、税の軽減や子どもの均等割りの免除に充てられないか。

答 均等割の軽減は考えていない。



▲ 福井大学病院 (HPより引用)

高齢者のごみ出し支援

問 市では、行政区、NPO、団体など、高齢者のごみ出し支援を行っている実績はあるのか。

答 近隣の人がごみ出しの手助けを行っている事例は聞くが、件数や詳細については把握していない。

問 介護予防・日常生活支援事業（総合事業）でごみ出し支援事業を始めたと聞いているが、具体的にどのように実施しているのか。

答 65歳以上の要支援1・2の認定者およびサービス事業対象者の中から地域包括支援センターが認定した人に支援を行う。

問 本市の場合令和元年5月からシルバー人材センターへ委託の形で実施を始めた。

答 サービスを受けた場合に、自己負担はいくらになるのか。

答 シルバー人材センターとは、1時間単位、1500円で契約し、利用者負担は150円となっている。

問 いくつかの集落で行っている丸岡地区の拠点式資源回収について、高齢者の資源ごみ出しが困難であると思うが、その対策は。

答 令和元年度、第二次坂井市一般



戸板 進

問 丸岡地区の拠点式資源回収を集落毎に実施できないか。

答 区長の意見を聞く機会を設け、高齢者に優しく、リサイクルの促進にもつなげられるような形にできたらと思っている。



▲ 介護予防・日常生活支援総合事業

定例会審議結果

★6月定例会に提出された議案と議決結果

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 —…議長のため原則採決に参加できない

議案番号	件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
			山田 秀樹	三宅 小百合	近藤 哲行	後藤 寿和	川端 精治	渡辺 竜彦	前川 徹	南川 直人	上坂 健司	戸板 進	吉川 貞明	古屋 信二	田中 哲治	佐藤 寛治	松本 朗	東野 栄治	伊藤 聖一	辻 人志	川畑 孝治	前田 嘉彦	橋本 充雄	永井 純一	畑野 麻美子	山田 栄	広瀬 潤一	田中 千賀子		
議案第37号	令和元年度坂井市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△	○	
議案第38号	坂井市森林環境譲与税基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第39号	坂井市税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△	○
議案第40号	春江小学校校舎大規模改造工事(建築)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第41号	丸岡バスターミナル周辺整備事業賑わい交流施設建築工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
陳情第1号	食料・農業・地域政策確立に向けた要請	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
発議第1号	食料・農業・地域政策確立に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

平成30年度 政務活動費の会派収支について報告します

☆政務活動費とは…

- ・議員の調査研究その他の活動に資するため必要な費用の一部として、議会における会派（所属議員が1人の場合も含む）に対して交付されるもので、会派の所属議員数に月額50,000円をかけた金額が交付されます。
- ・収支内容は、毎年度議長に報告し、残額がある場合は市に返還することになっています。
- ・年度の途中に会派の解散、所属人数に変更があった場合は、交付額が調整されます。

《平成30年4月》

(単位:円)

科目	会派名	志政会	政和会	日本共産党議員団	新政会	合計
		12名	6名	2名	1名	20名
収入	政務活動費	600,000	300,000	100,000	0	1,000,000
	預金利子	0	0	0	2	2
	合計	600,000	300,000	100,000	2	1,000,002
支出	調査研究費	0	0	0	0	0
	研修費	0	0	0	0	0
	広報費	0	0	0	0	0
	広聴費	0	0	0	0	0
	要望・陳情活動費	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0
	資料作成費	28,947	12,219	2,725	0	43,891
	資料購入費	1,680	0	0	0	1,680
	人件費	6,510	0	0	0	6,510
	事務所費	0	0	0	0	0
	事務費	0	0	0	0	0
	その他の経費	0	0	0	0	0
合計	37,137	12,219	2,725	0	52,081	
残 額		562,863	287,781	97,275	2	947,921
返還額	政務活動費	562,863	287,781	97,275	0	947,919
	預金利子	0	0	0	2	2

☆政務活動費の主な使途事項☆

- **研究研修費**
会派が行う市の事務、地方行財政などに関する調査研究(視察を含む)および調査委託に要する経費
- **研修費**
①会派が研修会、講演会などを開催(共同開催を含む)するために要する経費
②団体などが開催する研修会(視察を含む)、講演会などへの参加に要する経費
- **広報費**
会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
- **広聴費**
会派が行う住民からの市政および会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談などの活動に要する経費
- **要望・陳情活動費**
会派が要望、陳情活動を行うために必要な経費
- **会議費**
会派が行う各種会議、団体などが開催する意見交換会など各種会議への会派としての参加に要する経費
- **資料作成費**
会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
- **資料購入費**
会派が行う活動に必要な図書、資料などの購入に要する経費
- **人件費**
会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費

《平成30年5月～平成31年3月》

(単位:円)

科目	会派名	志政会	政和会	政友会	日本共産党議員団	公明党	政立会	合計
		12名	6名	4名	2名	1名	1名	26名
収入	政務活動費	6,600,000	3,300,000	2,200,000	1,100,000	550,000	550,000	14,300,000
	預金利子	13	11	5	4	0	1	34
	合計	6,600,013	3,300,011	2,200,005	1,100,004	550,000	550,001	14,300,034
支出	調査研究費	1,187,199	1,408,999	1,636,490	0	0	0	4,232,688
	研修費	939,578	0	112,835	62,780	45,470	0	1,160,663
	広報費	816,220	479,482	0	0	0	0	1,295,702
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	要望・陳情活動費	0	0	0	49,060	0	0	49,060
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	570,839	283,150	65,014	49,794	0	0	968,797
	資料購入費	274,852	6,960	5,000	33,748	0	0	320,560
	人件費	133,455	0	0	0	0	0	133,455
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0
	事務費	0	0	0	0	0	0	0
	その他の経費	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,922,143	2,178,591	1,819,339	195,382	45,470	0	8,160,925	
残 額		2,677,870	1,121,420	380,666	904,622	504,530	550,001	6,139,109
返還額	政務活動費	2,677,857	1,121,409	380,661	904,618	504,530	550,000	6,139,075
	預金利子	13	11	5	4	0	1	34

第23回 議会報告会

6月4日・5日

6月4日に鳴鹿、のうねの郷、兵庫の各コミュニティセンターにおいて、5日に三国東部、春江東の各コミュニティセンターおよび雄島小学校において、議会報告会を開催しました。
3月定例会の報告の後、グループに分かれて市政に関する意見交換を行いました。

市政に関するご意見

- ・ 防災無線が家の中では聞こえない。以前は各家庭にスピーカーがあつて良かった。対策を考えてほしい。
- ・ 明るいまちづくりは良いのだが、街灯の光が稲の成長に悪影響をもたらす。街灯の色をオレンジ色（黄色）にすると被害がないのではないか。
- ・ 将来、運転免許を返納した場合はコミュニケーションバスが頼りになる。一層利便性のあるものにしてほしい。デマンド交通の導入も検討すべき。
- ・ より一層の鳥獣害対策をお願いしたい。
- ・ 子育てしやすい坂井市を、もっとPRすべきである。
- ・ 後継者問題が重要。集落の半分近くが後継ぎがない状況。集落が消滅してしまう。
- ・ 防犯カメラの設置も必要だが、暗い所をなくしてほしい。学校の周りを中心に、LED青色灯にしてほしい。
- ・ 観光地に洋式トイレを。トイレが清潔に保たれているか議員で調査して声を届けて欲しい。
- ・ 坂井市は県内2番目の市でありながら、JR春江駅、JR丸岡駅とも貧弱である。東西線も早く整備してほしい。
- ・ 人口増加について、市としてもっと大胆な政策をとる必要がある。
- ・ 防犯隊に所属しているが、現在は高齢化が進み、隊員も減少している。隊員を各集落に配置できないか。地区の防犯にもつながるのではないか。
- ・ コミュニティバスの収入が少なく支出が多い。市民の移動は旧町毎がよいのでは。



▲ 三国東部コミュニティセンターでの様子



▲ 春江東コミュニティセンターでの様子



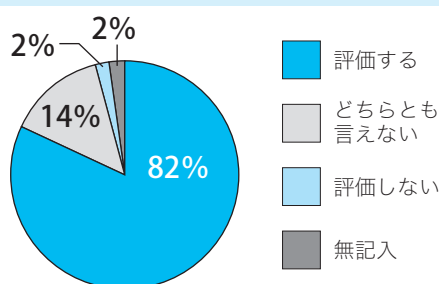
▲ のうねの郷コミュニティセンターでの様子

みなさんからお聞きした 要望やご意見は…

議会報告委員会において整理し、回答が必要な場合は、関係課に確認の上、回答をしています。
また、いただきましたご意見を取りまとめ、市長に報告をしたり、一般質問や常任委員会などで取り上げたりするなど、みなさまの声を市政に届けています。

アンケートから見る議会報告会への意見・感想

Q.本日の議会報告会はどうでしたか。



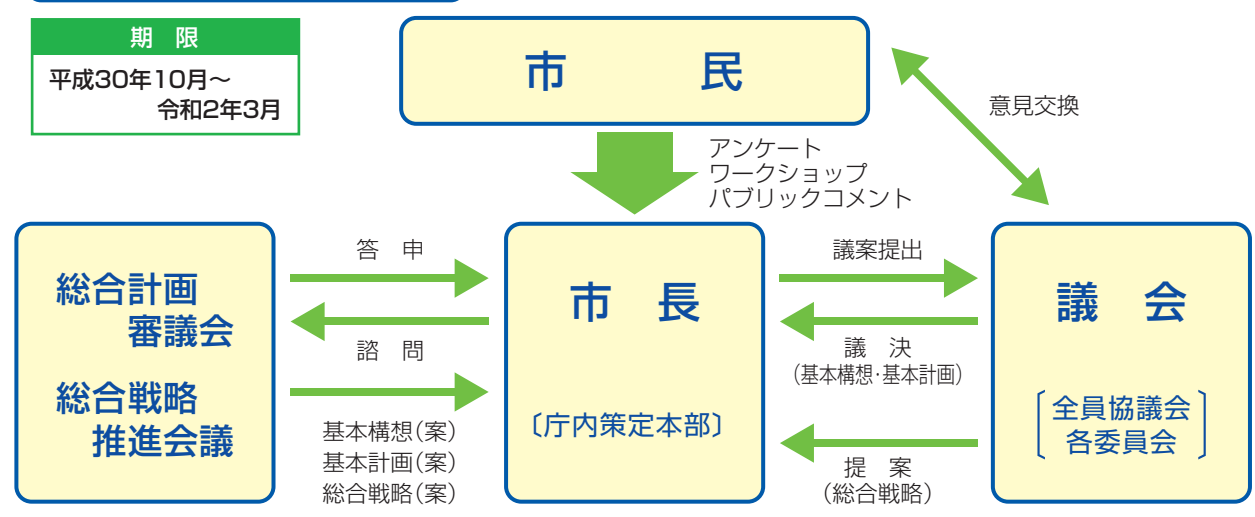
・ 十分に議論できました。
・ せっかくの報告会なのに参加者が少ないのが残念でした。もっと周知に取り組んで、より多くの方が参加できるようにしてほしい。
・ 議員さんが部局に関する事柄についてもっともつと研鑽され、知識を持って対応されることを願いたい。
・ 初めての参加であったが、丁寧に対応いただきとても良かったと思う。

Topics

第二次坂井市総合計画の議論がスタート!

市では第二次総合計画を策定します。計画期間は令和2年度～11年度の10年間。市の政策の根幹である現在の総合計画を総括し、議論します。これからの10年間、坂井市の将来像を想定し、将来を見据えた計画にしなければなりません。議会としても、市民の意見を反映したものにしたいと考えています。

<第二次総合計画策定の流れ>



議会を傍聴してみませんか

★9月定例会会期日程 (予定)

9月6日(金) 10時～ 本会議(行政報告・議案説明など)	9月20日(金) 10時～ 教育民生常任委員会
9月17日(火) 10時～ 本会議(一般質問)	24日(火) 10時～ 総務常任委員会
18日(水)	30日(月) 10時～ 本会議(委員長報告・採決など)
19日(木) 10時～ 産業建設常任委員会	

※ 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。



編集後記

この号が発行されるのは、二十四節気の処暑と呼ばれる時期です。

暦便覧では「陽気とどまりて、初めて退きやまんとすれば也」と、暑さが峠を越えて後退し始めるころと書かれております。今年の処暑はいかがでしょうか。

さて、9月になりますと、県指定の表児の米や長畝日向神楽、市指定の海女唄といった本市に伝わる無形民俗文化財が奉納されます。

これから本格的な台風シーズンを迎える季節となります。備えあれば憂いなし、今一度、防災マップなどのご確認をいただき安全にお過ごしください。

(三宅)



※お問い合わせや議会だよりに対するご意見がありましたら、左記の議会事務局連絡先までご連絡ください。